

衝撃性が向上

透明多層フィルム

ウェーブロック

ウェーブロック・アドバンスト・テクノロジー(島田康太郎社長、東京都中央区)は、車載ディスプレイ向け透明多層フィルム「シャインテックHW-10SU」を開発し、2022年3月から市場投入すると発表した。同社の従来製品に比べ硬く衝撃性が向上し、劣化による黄変色の発生も抑えた。センタースクリーンフォメーションディスプレイなどへの採用につなげる。

今回開発した同製品は、従来製品より硬いアクリル樹脂を使うことで0.25ミリのフィルムの厚みのまま、性能向上を図った。鉛筆硬度試験では、ハードコートなしの状態でもHだったが3Hとなった。耐衝撃性は2倍以上、耐候性の黄変度は10分の1まで低減された。サンプル製品はすでに完成しており、ユーザーの反応を踏まえて市場投入していくと見られる。

開発・製造は同社の一関工

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。

掲載日 2021年11月25日 日刊自動車新聞 3面

©日刊自動車新聞社 無断複製転載を禁じます。